

大阪大学総合学術博物館 第9回特別展

ああ れい めい 嗚呼黎明は近づけり...

友よ我らぞ光よと



—よみがえる旧制高校 大高・浪高の記憶と記録—

学生の自主性を重んじた少人数教育により、戦前の日本の人材育成で輝きを放った旧制高校、かつて大阪にあった大高・浪高の記憶と記録をたどり、その意義と大阪大学への継承を紹介する。

2016年 4月27日[水] → 7月9日[土]

入館無料 ◆日曜・祝日休館、ただし5月1日[日]は開館

会場：大阪大学総合学術博物館待兼山修学館

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：大阪大学アーカイブズ

協力：大阪府立大学 21世紀科学研究機構 大学史編集研究所
大阪大学21世紀懐徳堂



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 Tel.06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩10分 ※公共交通機関をご利用ください。



写真所蔵 大阪大学アーカイブズ

大阪大学総合学術博物館 第9回特別展

あ あ れい めい
嗚呼黎明は近づけり...
友よ我らぞ光よと

—よみがえる旧制高校 大高・浪高の記憶と記録—

2016年 4月27日[水] → 7月9日[土]

入館無料 ◆日曜・祝日休館、ただし5月1日日は開館
会場：大阪大学総合学術博物館待兼山修学館



●大阪高等学校一覧



●浪速高等学校一覧



●行幸記念光栄録



●直筆ノート



●同人誌

背景写真所蔵 大阪大学アーカイブズ

教育は、いつの世でも社会における重要課題である。日本では終戦によって大改革がおこなわれ、戦前の教育制度は遠い過去のものになった感があるが、その実態を再検証することは、現代に生きる私たちにも有意義ではないだろうか。

新制大阪大学の一般教養教育は、大阪に存在した二つの旧制高等学校—大阪高等学校と浪速高等学校を母体に始まった。旧制高校は明治から昭和初期にかけての日本の教育制度の中で、少人数制や生徒の自主性の尊重、外国語教育の充実などの際立った特徴を持ち、日本が近代化を進め、激動していた時代の人材育成に輝きを放っていた。

大阪大学豊中キャンパスには、両校の“記憶”を後世に伝えるべく、大高の森や浪高庭園が設けられ、ブロンズ像など様々なモニュメントが置かれているが、それらが伝えようとしているものはなにか。

本展覧会では、大阪における二つの旧制高校について、設立、教育、学生生活、そして卒業生の活躍を、大阪大学が所蔵する様々な記録資料により紹介し、その意義を再考する。

展示構成と展示資料

I 旧制高校をしていますか？

主な展示物

浪高制服、学章、課外活動の記録、旧制高校関連書籍

II 大阪高等学校・浪速高等学校の設立

主な展示物

学校便覧、旧制高校写真、浪速高等学校 生徒生計調査報告、行幸記念光栄録、同窓会記念誌

III 大高・浪高での教育と学生生活

主な展示物

直筆ノート、教科書、愛読書、試験問題、教育用教材、同人誌、歌集

IV 大高・浪校出身者の活躍

主な展示物

大高文庫(大阪高等学校同窓会収集資料)、旧制浪速高等学校同窓会収集資料

V 旧制高校の終焉と大阪大学一般教養部の設立

主な展示物

公文書、同窓会誌、大阪大学学報

ミュージアム・レクチャー

会場：3Fセミナー室、30分前より開場、定員60名、予約不要

旧制高校教育と大学一般教養読み比べ - 理系教員の視線で -

4月30日(土) 14:00~15:30

宮久保 圭祐(大阪大学総合学術博物館)

大阪大学会館から「発見」された旧制浪速高等学校奉安庫

- 大阪大学に残る戦争遺跡 -

5月21日(土) 14:00~15:30

菅 真城(大阪大学アーカイブズ)

大阪大学における教養教育の現状

5月28日(土) 14:00~15:30

下田 正(大阪大学大学院理学研究科 前大阪大学全学教育推進機構長)

大阪の高等教育機関の変遷

6月25日(土) 14:00~15:30

山東 功(大阪府立大学 21世紀科学研究機構 大学史編纂研究所)



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 Tel.06-6850-6284

http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩10分。公共交通機関をご利用ください。